

風呂フタの修理

概要

- シャッター式風呂フタの修理方法
- 強力補修テープ(屋外用)を使った修理方法で、風呂フタの寿命を数倍に延ばせるかも・・・。

フタ寸法 910 幅×1,368 長さ

フタ素材 ABS 樹脂

費用 388 円 (補修テープ代)
完成: 2012 年 6 月

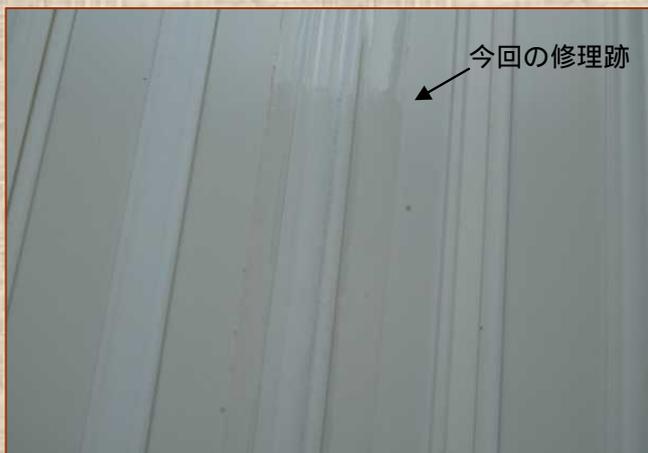
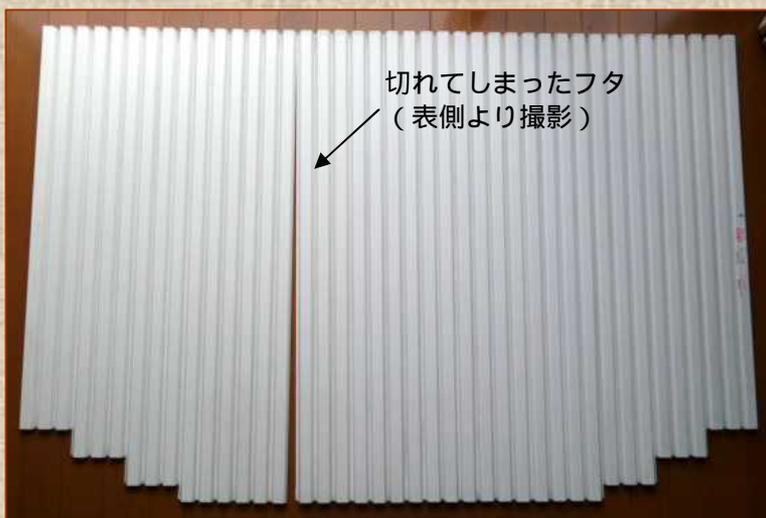


強力補修テープ コニシ製

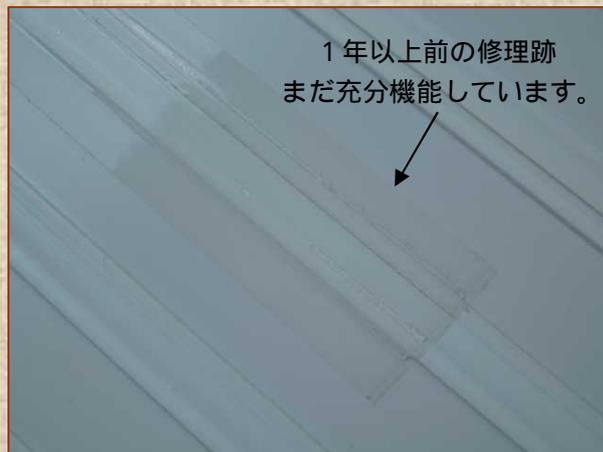
(ボンドストームガード)

用途 (製品の裏書より抜粋)

- ビニールハウス・雨具・アウトドア用品・防水カバーの破れに
 - サッシ窓廻り・トタン屋根・瓦・雨どいの継ぎ目にガラス・カーポート・プラスチック製品の割れに
 - 浴槽・タイルの割れの仮補修に
-
- ホームセンターで、偶然目にしたこのテープには、「これだ!」と閃くものがありました。
 - ビニールハウスなどの破れ修理に使えるということは、耐熱性や耐水性など、風呂のフタと似た環境で使えるということではないか。
 - 我が家の白っぽい風呂フタを補修しても、透明テープなら目立たないだろうと・・・。



左右の写真ともテープの痕跡が見難いですが、フタの裏側からテープピングしています。



このテープ、ホントに優れものです

1年以上経過した右下の状態を見ても、全く問題なく機能しています。

耐候性、耐水性、耐熱性に優れた、劣化しにくい優れ物だということがよく分かります。(メーカーの回し者ではありませんよ、念のため)

裏話

- 我が家のお風呂は、NAIS(旧松下電工)のESバリアフリータイプで快適なのですが、消耗品の“風呂フタ”の入手には少し苦労したことがあります。
- ホームセンターの市販品では、大きさが全く合わないので純正品を取り寄せるしかなく、これが結構高額(¥10,500)なので、消耗品といえども中々交換できませんでした。
- 最初のフタ交換は満4年を過ぎた頃、フタの破れを適当な粘着テープで凌いでいたが、毎日40度以上の湿気に曝されるのは、粘着テープにとっても最悪の環境なので、すぐにノリが剥がれ汚くなっていました。
- 仕方なく純正品を手配せざるを得なくなり、10,500円の痛い出費と相成った。(この時は、4年も使えば上等かなと思っただけなのだが・・・)
- その時の純正交換品も更に4年が経過した頃、再び何箇所か“破れ”が目立ってきて、偶然見つけたこのテープでの修理を試して、既に1年以上が経過し現在に至っている。
- この補修テープが、こんなに長持ちする修理方法だと思っていなかったのも、今度同じ修理する機会があったら、写真を撮って記録しておこうと思っていたものである。
- これで、このフタの寿命が更に何年延びるのか楽しみだが、メンテを繰り返せば数倍には延ばせる気がする。
- このテープには、もっと活用方法が色々ありそうで、このテープを今まで知らなかったことが損した気分です。